

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2017年6月22日

東京大学での所属学部・研究科等:	教養学部	学年(プログラム開始時):	学部4
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	清華大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
()1.研究職 ()2.専門職(医師・法曹・会計士等) ()3.公務員 ()4.非営利団体 (<input checked="" type="checkbox"/>)5.民間企業(業界:コンサル) ()6.起業 ()7.その他()			

派遣先大学の概要					
清華大学は北京大学と並ぶ中国のトップ大学である。北京大学と比べ理系が強く、起業も活発である。大学が積極的に著名人を招待したり、海外大学との繋がりを深めており、豊富な資金力を武器に教育水準の向上に力を入れている。留学生もかなり多く、その出身国もアジアからアフリカまで多岐にわたる。キャンパスは北京に位置し、キャンパス内には寮からスーパー、ジム、グラウンド、公園まで基本的に何でも揃っており、近くには繁華街もある。					
留学した動機					
留学した動機は大きく二つある。 一つ目は視点を移して国際関係、日中関係を学びたいと思ったためである。中国の台頭を受けて国際関係は大きく変動しており、日本からだけでなく中国の観点からその変化を捉えたいと思ったためである。 二つ目は中国と向き合いたいと思ったためである。自分自身日本で生まれ育ったが、両親が中国出身だったため中国の存在は意識し続けていた。日本でやりたいと思っていたことをやり尽くしたこともあり、中国に留学する中で語学力はもちろん、将来中国で働く際の参考材料に得ようと考えた。					
留学の時期など					
①留学前の本学での修学状況:	2016年	学部4	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2016年	9月～		2017年	6月
	学部4	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2017年	学部5	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2016年	学部4	年生の	3月頃に	
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位				72単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位				4単位
	留学後の取得(予定)単位				76単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2013年	4月入学		2018年	3月卒業/修了
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					
元々留学は専門課程に入ってから考えようと思っていた。三年次にはまだ日本でやりたいことがまだあったため、それを優先させた。四年次に上がる際、社会に出る前に留学をしたいという思いがあったので、それを実現しようと応募を決めた。					
留学の準備					
①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)					
東大に出す書類以外に気を付けるべき点は寮の申し込みと思われる。寮の数より留学生の数が多く、申し込み開始すぐ宿を取ることをお勧めする。外部で家を探すのは面倒なうえ、家賃も高い。					

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)			
中国籍を持っていたため考慮する必要がなかった。			
③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)			
特になし。			
④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)			
学校指定の保険に加入した。			
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)			
論文の指導教官に留学する旨を伝えた。			
⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)			
出発前に一年弱中国語を勉強した。両親が中国を頻繁に使う環境にあったのでリスニング力はある程度あったが、使える単語は限定的だった。			
⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど			
語学力によって留学で得られるものはかなり制限されるので、語学力ができるに越したことはない。ただ現地に行ってからの方が語学力の向上は速いので、出国前に語学が完璧である必要はないと思う。現地の情報はなるべく多く仕入れた方がよい。現地に滞在する知り合いがいれば繋いでもらうとよい。ほとんどのものは現地で安く調達できるので自分は最低限のものしか持っていかなかった。			
学習・研究について			
①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合) ※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。			
授業科目名	単位認定 の申請	授業科目名	単位認定 の申請
中国語会話(準高級)			
中国語リーディング			
日本経済、政治、外交	●		
中国語会話(高級)			
日本研究	●		
②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)			
留学中は主に語学と日中関係の授業を取った。語学の学習の際には発音とアクセントは特に重視した。予習は授業前、復習は試験前に行った。日中関係の授業では中国語で小論文を書く必要があったため、早めに準備を始めた。			
③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など			
1学期あたりの科目数は2.3科目、単位は7.8単位だった。週に三回、一回一時間半ほど、日本語を学んでいる現地の学生と会ってお互いの言語や国について教えあった。それ以外の空き時間は語学の自習や読書に充てた。			
④学習・研究面でのアドバイス			
中国語は発音とアクセントが非常に重要なのでそれを重視して学習し、中国人との会話や授業で積極的に使うとよい。しっかり時間を取って自習するのも大事。			
⑤語学面での苦労・アドバイス等			
中国に着いた当初は中国語があまり話せなかったため現地の人とのコミュニケーションに苦労した。アクセントと発音は重視して学習するとよい。また中国は地方によって方言があり、かなり標準語と異なるので旅行で別の都市に行ったときは大変だった。			
生活について			

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)
寮を利用した。中国人との二人部屋に入ることができなかったので一人部屋を選択した。一日80円で非常に質素だが、しばらく住むと慣れた。
②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)
気候について言えば夏は暑く、冬は寒い。日較差も大きく空気は乾燥しており、汚染がひどいときもあるので、そういう時はマスク着用を勧める。大学の近くには繁華街があるので、たまに友達とご飯を食べに行った。市内の移動は主に地下鉄とバスを使った。食事は基本的にキャンパス内のレストランを使い、時々配達サービスを使った。お金の管理としては、父親から現金を調達しつつ、銀行口座と連結したスマホ決済で生活していた。
③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)
治安は全体的に良い。とはいえ、所有物の紛失には注意した方が良い。日本語を使える医療機関はあったが、漢方中心の処方では効果を感じにくいときもあった。空気が悪い日は外出を控えたり、マスクを着用した。
④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)
・毎月の生活費とその内訳
寮費は一日80元、食費は一日50元くらいなので毎月6万円程度。
・留学に要した費用総額とその内訳
航空券二往復で20万、寮費と食費総額で45万、その他娯楽費10万程度と見積もって総額は75万くらい。
⑤奨学金(支給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)
JASSOの奨学金を利用した。月額6万円で、東大のホームページで見つけた。
⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)
月に二回程度自分で筋トレ・ランニングをしていた。インターンは週に三日、日系の広告会社で日本の市場調査を行った。休日には北京近郊の観光地やほかの都市に旅行に行った。
派遣先大学の環境について
①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)
現地生にわからないことは聞いていたので、大学からのサポートを必要とする場面は少なかった。実際大学に期待するよりは知り合いを活用したほうが効率が良いと思う。寮の受付にスタッフがいたので困ったことがあればまずスタッフに相談した。語学面だと日本語の教師と知り合って、language partnerを紹介してもらった。
②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)
図書館もスポーツ施設も充実していたが、あまり使用しなかった。食堂やカフェは多数あり、非常に便利だった。Wi-Fiは月毎月20GBまで無料であり、動画を見すぎない限り問題なかった。
留学と就職活動について
①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど
留学に行く前に就活をかなりやっていたので特に留学のメリットやデメリットは感じなかった。ただ、留学のせいで就活できる期間は限られる点は事前に考慮した。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響
留学、海外でのインターンを通じて海外で働くイメージが具体化されたため、より海外で働く志向が高まった。
③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)
留学の前、最中、後に関わらず、自分のキャリアについて考え、行動し続けることが重要と考える。
④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください
<input type="checkbox"/> 1.研究職 <input type="checkbox"/> 2.専門職(法曹・医師・会計士等) <input type="checkbox"/> 3.公務員(機関/機関名) <input type="checkbox"/> 4.非営利団体(団体名又は分野:) <input checked="" type="checkbox"/> 5.民間企業(企業名又は業界:コンサル)
留学を振り返って
①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感
<p>いくつか述べたい。</p> <p>まず初めに、留学の価値は異文化の理解と自文化の相対化にあると思っている。多くの物の価値は相対的であり、それに気づかされる。中国文化の特徴は国土の広さや民族の多様性から地域ごとに文化が大きく異なっており、非常に興味深い。また、国が経済発展の真っ最中にあることもあり、勢いを感じる。</p> <p>次にマイノリティから社会を見る経験。その中で価値を発揮するのは難しいが同時にやりがいがある。将来的に海外で生活する、働くというイメージを具体化することができる。</p> <p>もちろん言語力の向上は言うまでもないが、一定程度向上したときにまた次の壁が見える。</p>
②留学後の予定
留学後半年で卒業する予定なので卒業論文の作成を中心にしつつ、キャリア教育に関わるつもりである。夏休みは就職先を決め、サマースクールと学生会議に参加する予定である。
③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス
留学に対する考えは各々異なると思うし、明確な目標と実力無しに行く留学は無意味だと考える。一方で上記のようなメリットがあるのは事実なので、純ジャパこそ海外に行く意味はあると考える。
その他
①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物
特になし
②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2017年 7月 23日

東京大学での所属学部・研究科等:	経済学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	清華大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input type="checkbox"/>	1. 研究職	<input type="checkbox"/>	2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
<input type="checkbox"/>	3. 公務員	<input type="checkbox"/>	4. 非営利団体
<input checked="" type="checkbox"/>	5. 民間企業(業界:)	<input type="checkbox"/>	6. 起業
<input type="checkbox"/>	7. その他()		

派遣先大学の概要

中国有数の名門校で、主に工学系が強い。

留学した動機

英語力と中国語力の向上

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2016年	学部3	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	2月~	2017年	6月	
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2017年	学部4	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2017年	学部5	年生の	4月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位				単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位				単位
	留学後の取得(予定)単位				単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2014年	4月入学	2019年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					

最もポピュラーな留学期間であったため。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

入学手続きに関しては特にないが、寮の応募はなるべく早くした方がよい。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

中国籍であるため不要。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

特になし。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東大が提供した海外保険会社に加入した。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

ゼミに加入していたので、単位分割を行う手続きをした。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

TOEFL93 なるべく音楽や映画で英語に触れて、慣れるように試みた。 HSK5級

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

大都市に行く場合は基本的にすべてのもの(日本食含め)が現地で調達できるため、特筆すべきものはない。ただ、日本のお土産を持っていくと、喜ばれるので良ければ。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Law and Politics in China	2	●			
Democratization and China in Comparative Perspective	2				
Intensive Reading(4)	2				
Intensive Reading(3)	2				

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

前回のフランスでの留学に比べ、言語の習得に大きな精力を注いだ。日本語が母語であるものにとって、読みと書きという部分ではやはり相当優位であるので、大きな問題であったリスニングとスピーキングを重点的に鍛えられる授業を取った。中国政治経済社会改革について包括的に扱った授業を取った。内容は多岐に渡り、財政政策等の経済政策の変遷や中央と地方の関係、人民代表大会の仕組みなどがとても興味深かった。結果的にドロップアウトしてしまったが、中国の民主化についての授業は、そのトピックの授業があること自体が驚きであった。もちろん、授業内容はすべて共産党に管理されているが、それにもかかわらず参考文献の中には西欧寄りの文献が多く、中には2020頃の中国の民主化を予想するものまであった。方法としては、まず民主主義という概念の話から入り、民主主義の一般的な成立要因、またはそれを妨げるものなど、中国だけでなく、他国のケースも例として学んでいた。主に経済成長、儒教文化そして国際環境が中国を民主化に導くといった内容であった。

リーディングが多く、授業外は図書館に籠ってリーディングをしていた。また、中国語の授業で毎回単語の聞き取り問題があり、教科書を復習する時間を設けた。また、学外でも、中国語のプライベートチューターを雇っていた。

④学習・研究面でのアドバイス

自分が全く知らない内容の授業を取るときは、本当に取りたいか考えたほうがよい。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

見た目が完全に中国人なので、普通の中国人に喋るスピードで話してくるため、聞き取りにくい。さらに、北京語なまりが強く、慣れないと聞き取れない。学校の施設の人を含め、英語はほとんど通じないので、ある程度の中国語能力は必須。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

大学内の寮、月四万程度、留学生専用の寮で活気があった

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

とにかく乾燥している、空気が汚い。大学が一つの村みたいに大きくて、外に出る必要なし。キッチンがないので、すべて外食か学食。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

空気が悪いため、マスクをつける人が多かった。ただ、治安に関しては特に問題なし。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

航空費10万、食費2万、交通費1千円、家賃4万、娯楽費2万 総額約18万

・留学に要した費用総額とその内訳

総額約50万

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

Fung Scholarship、月6万円、学校の斡旋

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

テニス部に所属

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

特になし。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

大学がすごく広く、図書館の数も多い。しかし、それでもみんな学校で勉強するため、すぐに席がうまる。スポーツ施設はすごく整っている。グラウンドが何個もある。食堂は15個ほどあり、飽きることはない。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

中国の経済成長を身に感じたこと、中国発のテクノロジーを知ったこと、新しいものがすぐに流行る国民性から、将来の中国市場の前途は明るいと感じたため、機会があれば中国での仕事もしてみたい。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

特になし。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | 5. 民間企業(企業名又は業界:) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

留学の一番の意義は、月並みな答えですが、いろんな考えを学ぶことです。日本は島国で、主観的ですが、かなり独特な社会、文化を有していると思います。他の国に行ってその社会を実際に感じたり、他の留学生と交流することは、自己の相対化につながり、良いところと悪いところを浮き彫りにさせてくれると思います。僕の場合だと、日本の労働環境、政治への無関心、歴史教育、受動的な教育などが、日本の弱いところであるとますます強く思うようになりました。しかし一方で、海外での日本製品や日本文化の根強い人気や、日本の治安の良さ、日本人のマナーの良さを再認識するきっかけとなりました。本では実感しにくい、そういった「気づき」は留学で得た宝物です。

②留学後の予定

東大に復学し、経済学部で一年半過ごす。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学では、授業だけでなく、あらゆる経験を大切にしてください。留学の準備でさえ、それはすでに大切な経験の一つです。外国人の友達と、クラブやバーと言った、海外の若者流の遊びをするのも、それはそれでかけがえのない大きな経験です。留学生活は時間が経つのが早いとはよく言いますが、僕の体感では、それはまぎれもない事実です。人生の中で、比較的時間に余裕がある状態で海外に住むことが出来るのは、留学くらいしかないです。また、現在は東大と提携している学校数が増えたり、奨学金が豊富に支給される点で、昔よりかなり留学に行きやすいです。問題はほとんど自分の意志だけです。また、日本人は留学を真面目に考えすぎるところがあると思います。ただ、行ってみたい、というようなシンプルな動機で大丈夫です。積極的に活動して、このチャンスを最大限生かしてください。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2017年8月10日

東京大学での所属学部・研究科等:	学際情報学府	学年(プログラム開始時):	博士3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	清華大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input checked="" type="checkbox"/>	1. 研究職	<input type="checkbox"/>	2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
<input type="checkbox"/>	3. 公務員	<input type="checkbox"/>	4. 非営利団体
<input type="checkbox"/>	5. 民間企業(業界:)	<input type="checkbox"/>	6. 起業
<input type="checkbox"/>	7. その他()		

派遣先大学の概要

清華大学は中国においてトップの大学の一つで、特に、工学が有名です。今回、受入先となった中国言語と文学研究科は規模が大きくないですけど、素晴らしい教員をたくさん持っている研究科です。

留学した動機

研究資料を収集するため

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	博士3	年生の	A2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	2月~	2017年	7月	
	博士3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	年		年生の		学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2017年	博士3	年生の	12月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			26	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			0	単位
	留学後の取得(予定)単位			26	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2012年	10月入学	2017年	9月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		0ヶ月間		

⑨留学時期を決めた理由:

就職する前に、中国の学術界の動きをもっと把握したかったからです。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

宿舍の申請は必ず早めにやったほうが安心です。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)					
③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)					
冬の北京は空気の質がかなり厳しいですから、マスクは必要です。					
④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)					
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)					
⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)					
なるべく簡単な中国語の会話能力を身につけました。					
⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど					
学習・研究について					
①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合) ※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。					
授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)					
英語で教える授業は少ないし、中国語は全然分からない場合は困るかもしれません。					
③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など					
④学習・研究面でのアドバイス					

⑤語学面での苦勞・アドバイス等
生活について
①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)
宿舎のシングルルームに泊まりました。施設は結構簡素ですが、暖房と冷房は付いています。
②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)
キャンパスは極めて大きいですから、自転車などは必要です。
③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)
北京は治安に於て特に心配することはないです。
④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)
・毎月の生活費とその内訳
家賃を含めて、6000元ぐらいです。
・留学に要した費用総額とその内訳
⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)
⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)
留学生のための活動はほぼ毎月いくつか行っています。
派遣先大学の環境について
①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)
②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)
大学の食堂は質もいいし、安いです。

留学と就職活動について	
①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど	
②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響	
③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)	
④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください	
<input checked="" type="checkbox"/>	1. 研究職
<input type="checkbox"/>	2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:)
<input type="checkbox"/>	3. 公的機関(機関名:)
<input type="checkbox"/>	4. 非営利団体(団体名又は分野:)
<input type="checkbox"/>	5. 民間企業(企業名又は業界:)
<input type="checkbox"/>	6. 起業(分野:)
<input type="checkbox"/>	7. その他()
留学を振り返って	
①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感	
②留学後の予定	
③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス	
その他	
①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物	
②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。	